



▲大きく実ったブルーベリーをたくさん摘み取る園児たち

**市産ブルーベリー販路拡大
各園で夏の味覚を楽しむ**

6月29日、白河ブルーベリーの丘（白坂）で、今季の開園式が行われ、招待された市内の園児たちは、摘み取り体験を楽しみました。

平成21年、観光摘み取り農園として開園し、面積拡大を続け、現在は約25品種が栽培されています。加工商品も充実しており、ジャム・コンポート・ドリンクは、白河市農産物ブランド認証を受けています。

また、新たに樋口ブルーベリー園（東上野出島）も開園し、白河ブルーベリーの会は、さらなる市産ブルーベリーの振興に尽力しています。



▲市内で初めて新しい受講証が授与されました

**日本赤十字社救急法短期講習
傷病者を救う勇氣と自信を育てる**

6月23日、信夫二小で5・6年生を対象に救急法短期講習会が行われました。中川達也指導員を講師に迎え、児童たちは保護者とともに、心肺蘇生とAEDについて学びました。講習を受けた児童は「教えてもらったことをいかして救助したい」と感想を述べました。

今年度から、受講した小学生と中学生には、日本赤十字社福島県支部と連名で「白河市・白河市教育委員会」と印字された受講証が授与されます。これは県内の他の自治体に先駆けて行われる取り組みです。



▲市長賞を受賞した矢作さん

**青少年健全育成推進大会
中学生の想いに耳を傾ける**

7月10日、コミネス（会津町）で「白河市青少年健全育成推進大会」が開催されました。青少年の健全育成などに功績があった方への表彰のほか、「少年の主張」では、各中学校の代表生徒8人が日常生活で感じている想いを、自分の言葉で発表しました。審査の結果、矢作百花さん（白二中3年）の主張「十人十色、差別のない社会を目指して」が、市長賞を受賞しました。

また、白河版オペラ「魔笛」のダイジェスト版が上演され、生徒たちは、舞台芸術を鑑賞しました。



▲芝生の苗植え作業の様子

**つくしまグリーンプロジェクト芝生化事業
かつての園庭復活に向けて**

6月24日、たいしん保育園で保護者の協力を得て、芝生の苗植えを行いました。

ポット苗方式で園庭を芝生にすることで、こどもたちの外で遊ぶ機会を増やし、体力向上を図るもので、経費は県の補助を受けています。保護者は、苗植えやその後の維持管理に参加することで、お互いの結びつきを深め、さらには地域コミュニティの活性化にもつながります。

鮮やかな緑のじゅうたんの上で、元気に遊びまわること私たちの笑顔が今から楽しみます。



▲舞台挨拶の様子(右から)主演和知健明さん、佐藤克則監督

**ダルライザー映画完成披露試写会
見た人々を「ライズ」させる映画**

7月15日、コミネスで「ライズ・ダルライザー THE MOVIE」の完成披露試写会が行われました。

市民の出演や市内ロケ、本市ゆかりのアーティストの共演を実現させた本作品は、迫力のアクションに加え、本格的サスペンスストーリーが展開する見ごたえのある映画です。

一般公開（有料）は、8月20日（日）まで新白信ビルイベントホール（立石）で、1日4回上映しています（午前9時30分・午後0時20分・午後3時10分・午後6時）。大人から子どもまで楽しめる映画を、ぜひご覧ください。



▲訓練の成果を披露する選手たち

**第9回白河市消防操法競技大会
市民の安全と安心を守るために**

6月25日、東風の台運動公園（東釜子）で「第9回白河市消防操法競技大会」が開催されました。

大会の目的は、団員の消防動作の確認と技術の向上、火災防衛体制の強化です。今年にはポンプ車の部に11チーム、小型ポンプの部に22チームが出場し、迅速さや正確さなどの技術を競い合いました。

競技の結果、自動車ポンプの部は白河方面隊第4分団第2部第1班（久田野）、小型ポンプの部は白河方面隊第7分団第3部（舟田）が、訓練の成果を発揮し、優勝しました。